（記載上の注意）
１　「特定資金受入残高」は、報告対象期間の末日における特定資金受入残高を記載すること。外貨建てで特定資金受入残高がある場合には、当該特定資金受入残高を本邦通貨に換算した上で記載すること（本邦通貨への換算に用いた相場については括弧書きにて記載すること。）。
２　「特定資金受入残高に係る特定資金受入保証金の額」は、現に供託している特定資金受入保証金の額及び特定資金受入保証金保全契約において供託されることとなっている金額の合計額を記載すること。

3　現に供託している特定資金受入保証金の内容（供託所名　　）

イ　金銭の場合

供託番号	供託金の額	供託者名
	円	

ロ　振替国債以外の債券の場合

供託番号	名称	回記号	番号	枚数	券面額	総額面	評価率	評価額
					円	円	%	円

ハ　振替国債の場合

供託番号	銘柄	金額	評価率	評価額
		円	%	円

4　現に締結している特定資金受入保証金保全契約の内容

契約の相手方	契約年月日	契約対象期間	契約金額
			円

（記載上の注意）
カジノ事業者が選択した資産保全方法について記載すること。

（第４面）

第３　特定資金貸付業務の状況

1　特定資金貸付業務の概要

（記載上の注意）
特定資金貸付業務の状況の推移（貸付金残高の対前期増減額及び増減率並びに増減の主な理由）について簡潔に記載すること。

2　貸付けの状況

件数等／貸付種別	貸付件数		貸付総額		平均貸付額	残高	
		割合		割合			割合
日本人及び居住外国人向け	件	%	百万円	%	百万円	百万円	%
非居住外国人向け							
合計		100		100			100

（記載上の注意）
１　「割合」は、合計に対する割合を記載する。
２　「貸付件数」は、当該期間に行った貸付けの件数を記載する。
３　「貸付総額」は、当該期間に行った貸付けの総額を記載する。
４　「平均貸付額」は、貸付総額を貸付件数で除した数字を記載する。
５　「残高」は貸付当初の元本ではなく、残元本を記載する。

3　貸付金の金額別内訳

件数及び残高／金額別	件数		残高	
		割合		割合
100万円以下	件	%	百万円	%
100万円を超え500万円以下				
500万円を超え1,000万円以下				
1,000万円を超え5,000万円以下				
5,000万円を超え１億円以下				
１億円超				
合計		100		100
１件当たり平均貸付金残高			百万円	

（記載上の注意）
「１件当たり平均貸付金残高」は、小数点第３位を切り捨て第２位までを記載する。

（第５面）

4　延滞状況

（百万円）

	貸付金残高	延滞残高					貸倒損失額	貸倒引当金額
		１か月以上３か月未満	３か月以上６か月未満	６か月以上１年未満	１年以上	計		
日本人及び居住外国人向け								
非居住外国人向け								
合計								

（記載上の注意）
１　貸付金残高のうち、返済約定期限経過後１か月以上３か月未満、３か月以上６か月未満、６か月以上１年未満及び１年以上延滞しているものについて、それぞれの区分に従い、延滞残高を記載する。
２　延滞残高については、契約書に定める期限の利益の喪失事由に該当する場合は、その元本の残高の全てを計上する。